

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム ふれあい

## 目標達成計画

作成日: 平成 29年 3月 28日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	25	利用者の、心身状態の悪化に伴う対応の、認識の共有が職員間で出来ていない。ADLの低下から、特に歩行能力に支障が見られる方が増えている為、転倒する危険が考えられます。	フロア会を行い、職員間の認識を共有していきます。利用者個々の状態に合わせた対応を行うことで、転倒を予防し、安全に移動できるよう支援していきます。	移動に支援が必要な方へは、居室にセンサーマットを設置することで、移動きをいち早く察知できるようにします。又、リビングには必ず職員を一人配置し、職員間で連携して見守りの強化に努めます。	6ヶ月
2	49	利用者の外出する機会が減少しており、外出を楽しみにされている一部の利用者の意向に、沿えていない結果となっています。付随して、地域との関りも希薄になってきています。	利用者と、周辺地域に外出し、季節を感じたり、地域の方と、関わりがもてる機会を提供していきます。	季節毎に外出企画を立てていきます。いきいき支援センターや、コミセン、他開催されている行事、イベントにも参加していきます。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。